

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 野犬掃討等業務委託事業
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築
小分類	2	環境保全活動の推進
主要な施策	5	生態系の保全
事務事業番号	001	事務事業コード 21125001 事業開始年度 平成 1 3 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	野犬掃討・畜犬登録経費
------	------	------------	-------------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策 G
-----	-------	-------	-------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 狂犬病の発生の予防、野犬掃討並びにカラス及び蜂の巣の駆除をし、市民の安全を図ることを目的とする。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 市内の犬の所有者に、畜犬登録の申請及び狂犬病予防法で義務付けられている予防注射をしてもらい、登録とその管理を行う。 野犬掃討、カラスの巣及び蜂の巣の除去業務を専門業者に委託して実施する。
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 野犬、蜂、カラス等の苦情に対し、専門知識を有するものによる迅速な対応措置を図るため、委託事務を行っている。 又、市広報による年4回の飼い主へのマナー等の啓発を行い、畜犬等による、人又は家畜への危害を防止する。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> 狂犬病予防法、登別市畜犬取締及び野犬掃とう条例

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	狂犬病予防注射摂取率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	79				
	犬の苦情処理件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	12				

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円	1,735	1,865	1,810	1,810	1,810	5,430
	一般財源 名称	千円	8,595	6,093	5,965	5,965	5,965	17,895
合 計			10,330	7,958	7,775	7,775	7,775	23,325
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	3,983	4,090			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		3,983	4,090			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である	妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
	→	妥当ではない	
野犬及びカラスや蜂の巣の取り扱いは、危険であることから市民の安全を確保するため、市が行うことが妥当である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている	成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
	→	どちらかといえばあがっている	
	→	成果があがらない	
市民からの電話依頼に、ほぼ対応できているので市民生活の安全が図られている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる	どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？
	→	少し向上させることができる	
	→	向上させることはできない	
継続実施することにより、市民を野犬、カラス及び蜂等から安全を確保することができる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる	どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？
	→	削減できない	
各年の犬の遺棄、カラスの営巣、蜂の発生状況は予測しがたいため削減が難しい。			

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	野犬については減少したが、飼い犬の逃亡、遺棄が増加している。カラスの巣、蜂の巣、不快害虫等については、山沿いだけでなく住宅街でも増加傾向にある。特に蜂（スズメ蜂）については、全国で死者もでる被害が発生している。
-----------	----------------------	---

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）